

テスト名	GRE (Graduate Record Examination)		
1. 運営事業団体	English Testing Service (ETS)		
2. テスト作成母体	English Testing Service (ETS)		
3. 主たる受験対象者	アメリカの大学院・ビジネススクールへ (MBA) の入学希望者 (英語母語話者を含む)		
4. 目的	GRE revised General Test: 大学院進学に必要な基礎学力を測定する GRE Subject Test: 大学院進学に必要な特定の研究分野に関する知識を測定する		
5. 構成概念の構成(測定する能力)	<p>言語能力テスト (Verbal Reasoning)</p> <p>(1) テキストを読解し推論する能力; 不完全なデータから推論する能力; 著者の考えを把握する能力; テキストの字義的/比喩的な意味を理解し著者の意図を読み取る能力 (2) テキストの重要な箇所を理解する能力; テキストのメインアイデアとサポートアイデアを理解する能力; テキストを要約する能力; テキスト構造を理解する能力 (3) 単語の意味、文やテキスト全体を理解する能力; 単語間/概念間の関係性を理解する能力</p>	<p>数学能力テスト (Quantitative Reasoning)</p> <p>(1) 数的情報を理解する能力 (2) 数的情報を解釈し分析する能力 (3) 数学の知識を用いて問題を解決する能力 (4) 基本的な数学の知識や、計算、代数学、幾何学、確率と統計の知識を応用できる能力</p>	<p>ライティング (Analytical Writing)</p> <p>(1) 複雑な主張を明確かつ効果的に述べる能力 (2) 関連する論理や例示により主張をサポートする能力 (3) 主張や論拠を検証する (4) 焦点の定まった一貫性のある談話を構成する能力 (5) 標準的な書き言葉としての英語を使用する能力</p>
6. テストの性質(テキスト・タスクの性質など)	<p>(1) 読解問題: ・多肢選択式 (答えは1つのみ): 5つの選択肢から選択 ・多肢選択式 (答えは複数ある場合がある): 3つの選択式から正答と思われる選択肢全てを選択する。部分点は与えられない ・1文補充課題: テキストから削除された1文を元の位置に補充する (2) 空所補充問題: ・テキスト内の空所に当てはまる語句を選択肢から選ぶ (3) 同一文完成課題: ・1文の中に空所があり、空所に当てはまる語句を6つの選択肢から2つ選び、それぞれが同じ意味を表す文にする</p>	<p>英語力を測定するものではないので割愛 https://www.ets.org/gre/revised_general/about/content/quantitative_reasoning</p>	<p>(1) 問題点分析課題: ある問題・主張に対して様々な観点から議論し、様々な状況や条件に応用できるような回答を作成する (2) 議論の分析課題: ある人物が議論している内容について、その内容の良しあしを議論し、どのようなデータを示すことが必要かを提案する。または代案を示すなど、議論されている内容を支持するための論拠を記述する</p>
7. 採点基準	2値的 (正解1 / 不正解0)	2値的 (正解1 / 不正解0)	採点基準の詳細は
8. 項目数	20項目 × 2セクション	20項目 × 2セクション	2項目
9. 得点・Feedback	1点刻みの130点-170点で評価される		0.5点刻みの0-6点で評価される
10. 受験時間	30分 × 2セクション	35分 × 2セクション	30分 × 2タスク
11. 受験者数	約40万人 (学士号授与者の約3割が受験)		
12. 受験料	General Test (185USD)、Subject Test (150USD)		
13. ウェブサイト	https://www.ets.org/gre		
14. その他 (変化・特徴など)	<p>2011年8月より現行のrevised testへ移行。Paper-basedの場合は受験時間とテスト項目数が異なる 各大学院への合否は、出願に必要なほかの要件 (大学での成績、推薦書など) と併せて判定される。 12ヵ月間に5回まで受験可能 (以前の受験日より1ヵ月以上の間を空ける必要がある) 日本では東京・神奈川・大阪のテストセンターで受験可能 2012年6月より、ScoreSelectオプションで過去5年間に受験したGREスコアのどれを報告するかを選択できるようになった (最新のスコアは必ず報告される) 言語能力テストまたは数学能力テストのうちどちらかは2度行われるが、どちらかはスコアには反映されない。また実験用のテストを受験することを求められる場合がある (テストを受ける順番は言語能力テスト⇒数学能力テスト⇒言語能力テスト、または数学能力テスト⇒言語能力テスト⇒数学能力テストとなり、2回受験したテストの内1つは得点にならない)</p>		

* 第一言語が英語である大学生を対象にしたテストであるため、英語のテストとしては非常に難しい。テストの指示さえ読めない場合がある (A.H.)